



あなたに聞きたい!



あまかつ  
**天勝まゆみさん**

ソプラノ歌手として、合唱指導者として多方面でご活躍の天勝まゆみさんにお話を伺いました。歌手として活動するまでの道のりはちよっぴりユニーク。このとりジュニア合唱団や、一月に文化センターで開催する『ひだまりコンサート』についてもお聴きしています。

◇◇◇◇◇

**文化センター(以下 文)・・・**天勝先生はいろいろなところで活躍ですが、歌で生きていきたいなと思われたのはいつからですか? 子どものころからずと歌が好きでしたか?

**天勝まゆみ(以下 天)・・・**母の育児日記に、ちっちゃいときからよく歌を歌っていて、口から生まれたんじゃないかって(笑)歌というか音楽そのものが多分好きだった。

**文・・・**(家庭)環境でしょうか?

**天・・・**全然。普通の家庭です。自分では覚えてないんですけど、保育園の頃に「オルガンが欲しい!」って言ったらしくて、買えないから買って楽譜を買ってくれたんです、なぜか。

それでもやっぱり欲しい欲しい言うから、オルガンを買ってくれて、で、小学校二年生の時にピアノを。私はピアノが欲しかっただけなのに、もれなく先生もついてきて(笑)それでようやく本格的に。でもピアノ嫌い(笑)何でしょうね、練習が嫌? (笑)歌はその時何もしないやつて。六年生でピアノは辞めたんですけど、辞めたらめっちゃ弾くという(笑)

**文・・・**強制がなくなつて(笑)

**天・・・**中学校のときに合唱部があったら入りたいなと思ってたのですがなくて。家でピアノを好

きな曲だけ弾くという感じでした。

それでやっぱり歌がしたかったんですね、高校の時に合唱部に入つて。高校二年生の時に、合唱連盟の理事をされていた松村勇先生が赴任してらして、私の師匠の勝木陽子先生を紹介していただいて、そのあたりからですかね。歌の方、音楽の方に行きたいって思ったのが。

それで音楽大学に行きたいって言ったんです。今から思えば音楽をさせてくれただけでもありがたかったなと思うんですけど、経済的な理由で国立大学しかダメ、浪人はダメ私立もダメつて。じゃあ教育学部の音楽科、と。

でも何も素地が無いのでソルフェージュもやったことがないし。だから入試がセンター試験と実技のみということで金沢大学に行つたんです。声楽専攻で。教育学部だったので、学校の音楽の先生になるって、思ってたんですけど。教育実習も行ってたし。音楽だけをやりたかったんで高校の先生になりたかったんですけど、当時の福井では小学校に行くかもしれないつて。それで、比較的プライベートな時間が取れそうな公務員がいいなと郵便局に就職しました。歌は趣味というか、また勝木先生に習いするという形になったんです。

**文・・・**就職された後の歌の活動は?

**天・・・**勝木先生の合唱団では歌わせてもらったりはしてたんですけど、特に・・・

結婚してからです。天勝のお家が「好きなことをやんなさい」っていうお家なんです。よ。「好きなことはどんどんやりなさい」つて。それで結婚してからコンクールに出たんです。福井県の音楽コンクールで知事賞も頂いて。日本クラシック音楽コンクールにも挑戦させてもらったり

**文・・・**背中を天勝家の皆さんが押してくださつて。

**天・・・**そうです。応援してくれて。『こもれ陽の会』(※勝木先生の門下で開催しているコンサート)の二回目から今もずっと出させてもらってるんですけど、初めはそれだけ。年一回のコンサートに出させてもらうために先生の所に通つてお勉強して。

**文・・・**お子様が三人いらっしゃるつて、大変だったんじゃないですか?

**天・・・**子どもを抱っこしたりおんぶしたりしながらレッスン受けた(笑)当時は仕事じゃないから。お金が発生するどころか、どつちかという

と出してる時期なので。練習するのも遊んでるつて思われるかもつて申し訳ないなと私自身がすごく遠慮して(笑)そんなことを家族は思わないんですよ。でも、そういうジレンマをいっぱい抱えていました。あと、三人目を産むときに子育てに専念するために(仕事を)辞めたんです。だから私が習い事なんて、申し訳ないつて。そういうのが、子どもが小さいときには続いてましたね。そういう気持ち、私忘れてましたけど、蘇りました(笑)。音楽が仕事になるまでは辛かったです。私、本当に先生や周りの方たちに助けていただいたんです。続けてよかったなつて思いますね。

**文・・・**今のようにソロとして活躍されるようになるには、きつかけがあったんですか?

**天・・・**これも天勝の母なんですけど、子どもが幼稚園に通っていた時に天勝の母が売り込んだんです。私を。それで幼稚園に一年間ボランティアでお歌の教室に行かせてもらつたんです。一年経った時に幼稚園側からお教室として来てくださいと打診していただいて。定期的なお仕事として音楽をするきつかけはそこなんです。ソロの活動では『越のルビーアーティスト』のオーディションを通過して、アーティスト登録されたのが大きなきつかけでした。そこから少しずつ演奏の機会とか、県内外で活躍されている音楽家の方と知り合う機会をいただいて。そこから広がっていった感じですね。

**文・・・**越前市文化センタージュニア合唱団「このとり」の指導もお願いしています。活動について思いをお聞かせいただきたいです。

**天・・・**怒って歌わせたくないんです。子どもたちが自分で歌いたいとか、知らないうちに集中していくつていう指導者になれたらいいなつてずっと思つていて。それはすごく難しいと思うんですよ。ちよつと方向性を示してあげる? 専門的な目から教えてあげて、少しでもその子の力になれたらいいなと思つていて。自然に頑張つていきたくつて思うように持つていかれたらなつて、思うんですけど。その辺はまだまだ力不足やなつて。

**文・・・**子育てでもそうですけど。難しいですよ。

**天・・・**去年ある子に「先生(言うこと聞かない子を)怒らんであかんのやつて! 怒ればいいんや」つて言われて(笑)。ああこういう風に思う

子もいるんだなつて。  
**文・・・**怒られてる雰囲気嫌つていう子もいるし、なんで怒らないんやろつていう子もいるかもしれないですね。

**天・・・**歌えないことに対しては怒りたくないなつて思つていて。一生懸命やつてる子の邪魔をする、それに対してだけはちゃんとやらないつて、私の中では精いっぱい、キツて怒っているんですけど(笑)

**文・・・**いつもが優しいから、

**天・・・**合唱は声を合わせる楽しさがあると思うので。それが一人で歌を習いに来るのとは全然違うことなので、それをみんなが味わえるといいなつて。発表の場をたくさんいたたいというの。ありがたいなと思うんです。そこに向けて一生懸命頑張つたという経験をしてもらいたい。声を合わせるのが楽しい、歌うのが楽しいつて思つて、その延長線上で上手になりたいつていうのがいいなつて思っているんです。

**文・・・**最後に、一月の『ひだまりコンサート』裏面に詳細に向けてお話いただけますか?

**天・・・**ぜひご家庭の中で歌つて欲しいので、耳馴染みのある曲を集めています。参加型で楽しくできたらいいなつて。

小さい子だけではなく、大人の方だけでも来て下さつたら。世代を超えて歌う歌つて今なかなかないじゃないですか? そういうものがあるといいなつて。それに歌が家庭にあるつてすごくいいなと思つていて。おうちで誰かがいつも歌つていてすごくいいでしょう。

**文・・・**嫌な雰囲気の時つて歌つてないですもんね。

**天・・・**しょう。音楽つてその時の記憶、情景と結びつきやすいじゃないですか? 私も母が洗濯しながら歌つてたとか、お茶碗洗いながら歌つてたとか記憶の中にあるんですよ。それつてすごく力になるなと思つていて。ひだまりコンサートがそういうきっかけになれば。

**文・・・**家帰つたら歌おうかな。

**天・・・**他にもいろいろ(アイデア)あるんですよ。子守歌だけのコンサートが出来たらいいなとか。

**文・・・**そしてみんな寝るみたいな(笑)次々と(笑)すごくいいですね!

◇◇◇◇◇

優しくてお茶目な天勝先生の子守歌コンサート実現したい! 一月のひだまりコンサートにも、皆様ぜひいらしてくださいね!



0歳から参加できるバリアフリーコンサート

## ひだまりコンサート 5



Bunvoya! インタビューを受けてくださった天勝まゆみさんご出演。  
歌っても、踊っても OK! みんなで楽しむコンサートです!!



日 時:2026 年 1 月 24 日(土)11:00~11:50

会 場:越前市文化センター大ホール

※入場無料

同時開催 たけブロックをつくろう♪

10:00~開演まで 場所:小ホール

参加費無料・要予約

先着 50 個※1 家族 2 個まで

協力:ハツ杉森林学習センター

手作りした楽器を持ってコンサートに参加できます。  
楽器はお持ち帰りいただけます。



天勝まゆみ(ソプラノ)



三崎 素美(ピアノ)



©2025 「35 年目のラブレター」 製作委員会

## 映画上映会 35年目のラブレター

その手紙は、精一杯の愛でした。心温まる感動の実話。

読み書きができない夫と幸せを教えてくれた妻が歩んだ物語。

日 時:2026 年 1 月 12 日(月・祝)

開 演:①10:00~ ②14:00~ ※開場は各上映会の 30 分前 ※各回完全入替制

会 場:越前市文化センター大ホール

料 金:一般 1,000 円 友の会 800 円 大学生以下 500 円 ※全席自由



## 上方落語会

第八十四回文化センター寄席

日 時:2026 年 2 月 11 日(水・祝) 開演 14:00

会 場:越前市文化センター小ホール

料 金:一般 2,000 円 友の会 1,800 円 大学生以下 500 円

※全席自由・限定 200 席

※未就学児入場不可・前売で完売の場合当日券販売なし

★お子様無料ご招待(事前予約制)★

子どもの公演鑑賞体験支援事業 対象公演

【対象】小学校 1 年生~18 歳以下の子ども

【枚数】60 枚(先着順)

【受付期間】12/6~1/31

※保護者等同伴者のチケットは対象外です※申込 QR コードからお願いします



お子様ご招待申込 QR



越前市文化センタージュニア合唱団こうのと

天勝まゆみ先生のご指導で、楽しく歌っています。

新しい仲間もウェルカム! 見学に来てみてくださいね。

詳しくはお気軽に越前市文化センターまでお問合せください。

芸術館にも  
行ってみよう!!

## 東儀秀樹コンサート

~千年続く音色のイリュージョン~ 雅楽



日 時:2026 年 3 月 20 日(金・祝)

開 演:14:00

会 場:越前市いまだて芸術館

料 金:【全席指定】

一般 4,000 円 友の会会員 3,500 円

大学生以下 1,000 円

【ゲスト出演】

合唱団「武生」、越前市文化センター  
ジュニア合唱団こうのと

友の会先行発売 1/10(土)・一般発売 1/17(土)

※友の会先行期間はいまだて芸術館(今立図書館 2 階)  
のみでチケット販売いたします。



JAZZ をベースに、もう「半分」を自由に使って多様な音楽を取り入れた  
唯一無二のバンド『半分 JAZZ』。  
オリジナル曲からカバーまで、遊び心  
満載の音楽をお楽しみください。

日 時:2026 年 2 月 28 日(土)

開 演:18:00

会 場:越前市文化センター 大ホール

料 金:一般:2,000 円 友の会:1,500 円

大学生以下:500 円(全席自由)

出 演:半分 JAZZ

山口秀法(P・Key)、齊藤孝幸(G)、山本治和(B)、

上坂朋佑(D・Perc)

ゲスト:柴田かおり(Vo)

チケット発売 1/10(土)

※越前市文化センター事業の案内は、ホームページに掲載しています。

※Bunvoya!掲載の全ての講座・催しについては越前市文化センターまでお問合せください。

<http://www.jigyodan-city-echizen.jp/bunka>

＜発行・編集＞2025 年 12 月 越前市文化センター 越前市高瀬 2 丁目 3-3 TEL:0778-23-5057 FAX:0778-21-1975

Bunvoya!は越前和紙を使用しています